

学習目標

歯と歯周組織を顕微鏡を用いて観察し、その構造と機能の関連を学ぶ。また、用いる染色や標本作製法の違いによって観察される構造が異なることを理解する。

■教科書：平成20年度 口腔形態学「歯の組織学」実習マニュアル

■参考書：1. カラーアトラス口腔組織発生学(わかば出版)
2. 口腔の発生と組織 第2版(南山堂)

■授業時間：10月31日～12月5日、1月23日の金曜日 14:00～16:50。合計7回

■オフィスアワー：磯川 桂太郎 (解剖Ⅱ) 月曜日 8:00～9:00

■成績評価：第7回に実施する実習試験(100%)で評価・判定するが、実習中に顕微鏡を用いて行う“出しもの”小試験の結果と、出欠や受講態度を加味する。

■注意事項：● 実習マニュアル、講義ノート、色鉛筆(12色程度)を用意。白衣着用。
● 実習の進行や理解、受講態度等に問題がある場合、補完措置を課す。
● やむなき事情により実習を欠席する/した場合は、事前あるいは当該実習日の翌日までに自分で担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

授業日・担当者	実習項目	学習到達目標
第1回10月31日 本田 雅規 山崎 洋介 湯口 眞紀 大津 博司 斎藤 登 高木 英男 森川 保 篠塚 恵造 本間 淳一 磯川 桂太郎	1. エナメル質	<ul style="list-style-type: none"> 歯と歯周組織を構成する象牙質, 歯髄, エナメル質, セメント質, 歯根膜, 歯槽骨, 歯肉の位置, 相互の関係を理解する。 エナメル質に見られる次の諸構造の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見れて見せれる”ようにする。 <p>[エナメル質] エナメル小柱, 小柱間質, 小柱鞘, Hunter-Schreger 条, Retzius 条, 新産線, 横紋, エナメル葉, エナメル叢</p>
第2回11月7日 本田 雅規 他	1. エナメル質 2. 象牙質	<ul style="list-style-type: none"> 脱灰薄切切片, 非脱灰研磨切片の差異, Schmorl 染色の意義を理解する。 エナメル質, 象牙質に見られる次の諸構造の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見れて見せれる”ようにする。 <p>[エナメル質] エナメル象牙境, エナメル紡錘, 象牙芽細胞突起</p> <p>[象牙質]</p>

授業日・担当者	実習項目	学習到達目標
		髓室, 根管, 外套象牙質, 髓周象牙質, 象牙細管, 管周象牙質, 管間象牙質, 象牙前質, 球間象牙質, 球間網, 球間区 Tomes 顆粒層, von Ebner 線, Owen 外形線, Andresen 線
第3回 11月14日 本田 雅規 他	2. 象牙質 3. 歯髄	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質, 歯髄に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見れて見せる”ようにする。墨汁注入標本で歯髄内の血管分布を学ぶ。 [象牙質] 原生象牙質, 第2象牙質, 修復象牙質, 透明象牙質, 硬化象牙質, 死帯 [歯髄] 象牙芽細胞層, 細胞稀薄層, Weil 層, 細胞稠密層, 象牙芽細胞, 線維芽細胞, 膠原線維, 血管, 神経線維, Raschkow 神経叢
第4回 11月21日 本田 雅規 他	4. セメント質 5. 歯根膜	<ul style="list-style-type: none"> セメント質, 歯根膜に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見れて見せる”ようにする。 [セメント質] セメントエナメル境, 細胞性セメント質, 無細胞性セメント質, セメント細胞, セメント小腔, セメント細管, Sharpey 線維, 類セメント質, 中間セメント質 [歯根膜] 歯根膜線維(主線維), 線維芽細胞, セメント芽細胞, 骨芽細胞, 脈管神経隙, Malassez 上皮遺残
第5回 11月28日 本田 雅規 他	6. 歯槽骨 7. 歯肉	<ul style="list-style-type: none"> 歯槽骨, 歯肉に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見れて見せる”ようにする。 [歯槽骨] 固有歯槽骨, 束状骨, Sharpey 線維, 層板骨, 歯槽硬線, 骨芽細胞, 骨細胞, 類骨 [歯肉] 口腔上皮, 遊離歯肉, 付着歯肉, 遊離歯肉溝, 歯-歯肉境, 歯肉溝, 歯肉溝上皮, 細胞浸潤, 接合上皮, 歯肉線維

授業日・担当者	実 習 項 目	学 習 到 達 目 標
第6回 12月5日 本田 雅規 他	復習	<ul style="list-style-type: none"> • 第1～5回の実習内容の復習を行う。 • 毎回行っている“出しもの”小試験も、出題数を増やして実施する。
12月12日～1月16日の金曜午後は『発生と発育の実習』を行う		
第7回 1月23日 磯川 桂太郎 白川 哲夫	実習試験	<ul style="list-style-type: none"> • 第1～5回の実習内容を範囲とする試験を(他教科の試験と併せて)実施する。詳細は別途通知する。